

優しさと笑顔が集ういずみの家

# いずみ野



第32号 (2022年4月1日発行)  
社会福祉法人 いずみの福祉会  
広報委員会  
桶川市川田谷1991-5  
TEL 048-786-2213  
http://www.izuminonoie.com  
E-mail:izuminonoie@violin.ocn.ne.jp



暑気払いにて 風船バレー大会

## 就労のカフェ紹介



コロナ対策中



オリジナル商品



桶川市役所1Fにオープンしたカフェも  
おかげさまで3周年を迎える事が出来ました。  
就労利用者も楽しみながらカフェ業務に取り組んでいます。  
コーヒー、紅茶、お弁当、パウンドケーキ等、取りそろえて  
おりますので、市役所にお越しの際は是非お立ち寄りください。

## 定年のご挨拶

長年お勤めされたお二人が定年を迎えられることになりました。長い間ありがとうございました。



生活支援員 鈴木範

平成二年に入職以来、元気に働き続けられたのも、笑顔いっぱいの方々の生活や富士山の見える散歩、美味しい給食のお陰だと思っています。  
ご家族の皆様にも大変お世話になりました。長い間楽しい日々をいただき、本当にありがとうございました。



次長 谷川克己

これまで前法人の安誠福祉会、現法人のいずみの福祉会を通じ、様々な職種で学ぶことが出来ました。そしてこの度、お蔭様を持ちまして無事定年を迎えることとなりました。これも一重にご利用者をはじめ、関係する皆様方のご支援の賜と感謝いたします。  
またこれからも仕事を続けさせていいただくこととなりましたので、引き続きどうかよろしくお願いたします。

## ご挨拶

社会福祉法人 いずみの福祉会

理事長 関根 和夫

新型コロナウイルス感染症が未だ収束せず、第六波の真只中でのこのご挨拶を書いております。感染が拡大する中、いずみの家においては、ご家族や関係者のご協力をいただき、感染防止を徹底しながらこれまで事業を継続することができております。しかし、いつ感染の波が施設に及んできてもおかしくない状況にあることは確かです。これからも皆様のご協力をいただきながらコロナ禍を乗り切ってまいりたいと思っております。

昨年五月には、念願でありましたグループホーム「ぎんなん」を開設することができ、四人の男性利用者が新たな共同生活を始めております。「ぎんなん」の運営には地元の方々から非常勤の世話人として関わっていただいております。今後二か所目のグループホームの開設に向けて取り組んでまいります。

また水害を避けるためいずみの家本体の移転改築を検討しておりましたが、移転先として適当な土地の目途がついたことから桶川市及び埼玉県と協議を始めたところです。

長らくコロナ禍で社会のさまざまな面で影響が出ています。これから社会経済情勢がどのようになっているか不安があります。このような状況の中で、いずみの家職員は一丸となることができることを着実に進め社会福祉施設の使命を果たしてまいります。

皆様には引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

## いずみの家 活動紹介

感染症対策をしながら、皆で楽しく活動しました。



折り紙教室

作品制作を通してボランティアの方々と楽しく交流しています



書道教室

武蔵野銀行桶川支店に作品を展示しました



生け花教室

ボランティアの方にアドバイスをいただきながら集中して活動しています



音楽療法

音楽療法士の先生といろいろな曲を歌ったり、楽器の演奏をしています



音楽広場

素敵なピアノ演奏に歌声も弾みます

## 就労B 作業・日課の様子



製袋作業



請負作業



地域清掃



館内の掃除



アルミ缶作業



散歩



給食当番



作業の合間に体操

## グループホーム ぎんなん 紹介



いずみの家の近くに開設した「ぎんなん」がおかげさまで一周年を迎えることが出来ました。そんな「ぎんなん」の様子を一部ご紹介いたします。



きれいに揃えて干すことが僕の日課です!



この時間が一番待ち遠しいです。「どんな味かなあ?」



食べ終えた食器は自分で洗います!

## 生活介護 日課の様子

毎日にぎやかに楽しく活動しています



カレンダー制作



箱折り作業



アルミ缶作業



誕生日会



ボール運びレク



朝の会



散歩



特別活動(外出)



給食